

# かほく市立高松中学校 学校便り

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

## さわやか



特別号 2 令和6年9月13日発行  
校長 塚田 秀和

### □ 前期学校評価アンケート結果等のお知らせ

2学期がスタートして2週間が過ぎました。始業式で「2学期は『最高の自分を見つけよう』」と話をしました。学校では3年生が26日(木)に開催する運動会に向けて応援練習の準備を、部活動では明日からの郡市新人大会に向けて、生徒が「最高の自分を見つける」ためにチャレンジする姿が見られます。

さて、保護者の皆様のご意見をお伺いし、家庭・地域・学校がより連携した教育活動が進められるように7月に「本校の教育活動に関するアンケート(生徒・保護者)」を実施させていただきました。この紙面では、保護者の皆様にぜひ、お知らせしたい項目について記載しました。この結果を踏まえて、より良い学校づくりに努めてまいります。なお、回答いただいたすべてのアンケート結果は、本校ホームページに掲載しましたので、ご覧ください。

### ○学校での授業や生活のようす

学校は「安全・安心」な環境であることが求められます。「学校生活が楽しい」と回答している生徒・保護者とも昨年同時期より3ポイント減少していますが、本校は、全体的に落ち着いており、温かな人間関係(生徒間、生徒・職員間)を土台に教育活動が行われている良好な状況と捉えています。また、学校行事や委員会活動など一人一人が役割を持って頑張っている姿も多く見られます。しかし、約1割の「学校が楽しい」と回答できなかった生徒に目を向けて、今後も、一人一人の話をしっかり聞く機会を持ち、保護者からの相談や問い合わせに適切に応じてまいります。

授業についてもアンケート結果から、しっかりと取り組んでいるようすが伺えますが「授業がわかりやすい」の問いに肯定的な回答が得られなかった生徒もいます。特別号1「本校における学力向上の取組」でお知らせしたように、各種アンケートから見られる本校生徒の特性を考慮して、生徒自身が「学び方」を選択する活動について研究を進めてまいります。この学習活動を通して、生徒自身が「分かる」喜びを体験し、次の学習への意欲を高めることで、確かな学力を身に付けさせていきたいと考えています。

	質問項目	R6前期	R5 前期	評価
生徒 保護者	学校生活が楽しい	89%	91%	
生徒	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97%	100%	△
生徒	先生は、生徒の話に耳を傾けてくれる。	91%	96%	△
生徒 保護者	授業はわかりやすい	93%	94%	
		76%	80%	△
生徒	授業では課題解決に向けて、自分で考え、自ら取り組んでいる	91%	92%	
生徒	授業の内容を分かろうとして頑張っている	95%	97%	
生徒	先生や友達の話分かろうとして聞いている	96%	100%	△
生徒	「授業の終始のあいさつ」は椅子をしっかりとできている	97%	99%	

※ 数値(%)は、「1そう思う」「2だいたいそう思う」を加えた肯定的な評価の合計

※ 評価は昨年同期のアンケートと比較 ○: 3ポイント以上上昇 △: 3ポイント以上下降

## ○自己肯定感、自己有用感を高める

「自己肯定感（自分に対する肯定的な意識のこと）」「自己有用感（自分の属する集団の中で、自分が大切な存在であることを自分自身が認識すること）」という感情が高いと自分自身に対する自信を深めたり、安易に問題行動や危険なものに近づいたりすることが抑制されると言われています。

本校では2学期の大きな行事である「運動会」「合唱コンクール」の機会を活用し、生徒の活動に「褒める・認める・励ます」といった肯定的な評価を積極的に行い、「自己肯定感」「自己有用感」を体験を通して積み重ねていきたいと考えています。

なお、「自己有用感」を高めるために効果的な言葉が「ありがとう」や「あなたのおかげ」だそうです。親子でも、大人同士でも言われると嬉しい言葉です。

## ○家庭での学習や生き方に関すること

今年度の大きな特徴は、家庭学習の時間が増加したことです。特に、平日に1時間以上学習している生徒が67%と全生徒の3分の2となりました。さらに平日に2～3時間の学習している生徒は昨年より11.5%も増加しました。今後もお子様の頑張りを見守り励ましていただけたらと思います。また、アンケートではメール・ネットの使用時間も微増となりました。学校でも「ネットの光と影」について考える機会を設けていますが、ご家庭におかれましても、お子様とネット等の使用や、時間の使い方について、お話をされたりする機会を設けていただけたらと思います。

	質問項目	R6前期	R5 前期	評価
生徒	道徳の時間では、他人の意見を聞き、いろいろな見方や考え方を知ることができている。	94%	97%	△
生徒	進路について考えたり、学んだりする機会がある。	79%	85%	△
生徒	自分にはよいところがある	73%	76%	△
生徒	将来の夢や目標を持っている	72%	76%	△
保護者		61%	67%	△
生徒	自分で計画を立てて勉強している	73%	76%	△
保護者		63%	62%	
生徒	「かほく市ネットルール共同宣言」を守ろうと意識している	75%	75%	

平日に平均してどのくらいの時間、家庭学習をしていますか。

	30分未満	30分以上	1時間以上	2時間以上	3時間以上
生徒	14.7%	18.5%	32.8%	30.3%	3.8%
保護者	16.5%	29.1%	38.3%	13.9%	2.2%

休日に平均してどのくらいの時間、家庭学習をしていますか。

	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上
生徒	17.8%	24.8%	29.6%	21.7%	6.1%
保護者	30.4%	34.3%	23.0%	10.0%	2.2%

平日に平均してどのくらいの時間、メール・ネット（ライン・ゲーム・動画・インスタグラム・フェイスブック・ツイッターなど）をしていますか。

	全くしていない	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上
生徒	3.3%	9.5%	40.7%	25.5%	21.0%
保護者	1.7%	15.2%	45.2%	22.2%	22.2%

休日に平均してどのくらいの時間、メール・ネット（ライン・ゲーム・動画・インスタグラム・フェイスブック・ツイッターなど）をしていますか。

	全くしていない	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上
生徒	3.2%	6.3%	17.9%	34.5%	38.1%
保護者	0.4%	8.7%	20.0%	31.7%	39.1%

## ○保護者アンケート、「いじめ未然防止の取組」について

「学校におけるいじめ未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる」との問いが 80%であったことと、学校は「安全・安心」な環境であるために、本校の「いじめ未然防止の取組」を、お知らせします。また、いじめに関する事案だけでなく、保護者の皆様や地域の皆様からお子様の様子を聞かせていただくことも大切です。今後ともご協力をお願いします。

	質問項目	R6前期	R5 前期	評価
保護者	学校は相談や問合せに適切に応じてくれる	90%	90%	
保護者	学校におけるいじめ未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる	80%	81%	
保護者	学校便り・ホームページ等で学校の指導方針やお子様の様子が伝わってくる	94%	96%	

## ○ いじめ未然防止の主な取組

### 取組 1 毎月のアンケート（本校）、いじめに関する調査（河北郡市共通 年 2 回）の実施

- ・月 1 回、全校集会終了後に「生活アンケート」を実施しています。  
アンケートの項目は「先月の生活で、人との関わりの中で嫌なことや困っていることはありますか」「友達が人との関わりの中で困っているのを見たり聞いたりしたことはありますか」の 2 つの設問に「ある」「なし」で回答し「ある」と回答した場合はその内容を記入する欄を設けています。このアンケートは 1 人 1 台端末で回答し、即時集計できることから得られた情報には、すぐ学級担任、学年職員で事実の確認、指導を進めています。
- ・河北郡市共通で年 2 回のアンケートを実施しています。本校では 7 月に実施しました。コドモンで配信し、お子様と確認の上、保護者の皆様から回答していただきました。こちらも、得られた情報については、すぐ学級担任、学年職員で事実の確認、指導を進めています。

### 取組 2 教育相談の実施

- ・学級担任や学年担当の職員と 1 対 1 で面談する機会を設定し、情報を得る機会としています。学級担任だけでなく「学校に話ができる大人がいること」を目的に実施しています。



### 取組 3 日頃の様子を観察

- ・授業中はもちろん、登校の様子や、休み時間の巡回など、授業中以外の生徒の様子を見ながら情報を得ています。

### 取組 4 全校集会等での講話

- ・生活指導担当、外部講師を招聘する「いじめ防止、非行・被害防止講座」等の機会を活用し、いじめを許さないことについての話をしています。

## ○ いじめを認知したときの対応

- ・事実確認を行い、内容に応じて謝罪などの指導を行っています。保護者へ事の経緯を説明します。
- ・必要に応じて、心のケアとして、スクールカウンセラーや教育相談員との面談を行います。場合によっては、教育委員会などの関係機関とも連携を取りながら進めていきます。
- ・事が起きた後、少なくとも 3 ヶ月間、関係生徒の様子を観察していき、必要に応じて指導していきます。
- ・内容に応じて、県派遣職員のいじめ対応アドバイザー（退職校長、本校職員も年 2 回、このアドバイザーより学校組織としてのいじめ対応についての研修を受けています）に助言を受けたり、関係機関と連携したりして対応します。

※なお、詳細については本校ホームページに「令和 6 年度いじめ防止基本方針」を掲載しています。

## □ ホームページにおいて、学校の様子をお知らせしています。

日々の出来事を更新しています。ぜひ、ご覧ください。 <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/takamj>

また、この学校だより及び学校評価中間報告を 10 月までに、ホームページ上で公開しますので、併せてご覧ください。今後とも、高松中学校が、地域にとってもより良い学校となるよう皆様のご支援ご協力をよろしくをお願いします。